

神戸市とスタートアップが協働する地域課題解決プロジェクト 「Urban Innovation KOBE」2023年の採択企業決定!

神戸市は、本市の地域・行政課題をスタートアップ（成長型起業家）等と市職員が協働し、解決する神戸市発の取り組みであるプロジェクト「Urban Innovation KOBE（アーバンイノベーション神戸）」は、Urban Innovation KOBEより提示した3つの課題に対し、新たに取り組む3つのスタートアップ企業を発表しました。



「Urban Innovation KOBE」は2018年よりプロジェクト開始以来、これまで53のスタートアップとともに取り組みを実施してまいりました。2023年6月6日（火）より、[神戸市が抱える3つの課題を解決するスタートアップの募集を開始](#)し、今年は3つの課題に対し、それぞれ1社ずつスタートアップが採択されました。ウェブサイトから応募いただいた33社に対して、書類選考および面談を実施し、チームの優秀度、課題の理解度、職員との協調性、新規性・創造性、継続性・収益性の基準により審査の上で決定しました。

【2023年「Urban Innovation KOBE」採択企業】

課題① : 未来の神戸を担う中高生・大学生の意見収集・交換の仕組みを構築！

所管課 : 企画調整局政策課

採択企業 : 株式会社はこぶん

事業概要 : 顧客の“ちょっとした本音”が届くデジタルレター「ホンネPOST」の運営。

URL : <https://lp.honnepost.com/>

課題② : テクノロジーで鳥獣被害問題に新たな解決策を！

所管課 : 経済観光局農政計画課

採択企業 : イーマキーナ株式会社（2018年設立）

事業概要 : 人体に影響のない超音波による有害獣忌避装置等の製造・販売。

URL : <https://emachina.co.jp>

所管課 : 消防局救急課

採択企業 : 株式会社 mairu tech

事業概要 : 民間救急・福祉タクシーがすぐに見つかるシステム「mairu」の開発

URL : <https://mairutech.com/>

今年は2023年6月6日(火)から7月2日(日)の募集期間中に30社を超える企業に応募いただきました。今後採択された3社と神戸市担当職員は約4か月にわたり、市職員との協働開発や、市民によるテスト利用、市役所業務の中での試行導入・実証実験を行い、実装に向けて取り組んでまいります。

【「Urban Innovation KOBE」について】

2018年よりプロジェクト開始。これまで53のスタートアップとともに取り組みを実施。2022年には、市民の声をAIがアシストする仕組みや市民が自身で渋滞を回避できるツールの実証開発など、多岐にわたりスタートアップと市職員が共に取り組んでまいりました。2019年より、市内のNPO法人により、さらなる広域の課題解決プラットフォーム「Urban Innovation Japan(アーバンイノベーションジャパン)」として展開されており現在日本全国22自治体が参加しています。

詳細はこちら : <https://urban-innovation-japan.com/>

これまでの取り組み : <https://urban-innovation-japan.com/past/past-kobe-city/>